

地元産新そばを堪能

第8回新そば祭り開催



見事なそば打ちの実演に感動する

11月13日、鳥取県日野総合事務所駐車場を会場に、第8回日野郡新そば祭り(同実行委員会主催)が開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。日野郡産の新そばを使って打ったそばを食べ比べることが出来る秋の人気イベント。当日は郡内のそば店など11店舗が、かけそばやおろしそばなど、店自慢のそばで競演。

来場者はお目当てのそばを食べようと長蛇の列を作る中、店先でそば打ちの実演が行われ、技術の高さに誰もが見入りました。カメラでその様子を写真に収める姿も。また、そば粉を使ったシュークリームなどスイーツも登場し、会場を沸かせました。

文化振興に役立てて

合銀が図書カードを寄付



これからの文化振興活動に期待しました

ごうぎん鳥取文化振興財団(古瀬誠理事長)が町図書館(松田暢子館長)に図書カードを寄付し、11月16日に役場で贈呈式が行われました。

同財団は県内の教育・芸術文化・スポーツ活動に対して支援活動を行っており、特に活発な活動している市町村に贈られる「教育助成」を今年も町図書館が受けました。

当日は、山陰合同銀行根雨支店支店長の田口哲也さんが「町は図書館が充実し、ミュージカルも盛ん。文化振興に役立てれば」と図書カード10万円分を町に贈呈。

町図書館館長の松田さんは「高齢者向けの大活字本を購入します。読んでいただきたい」と喜びました。

地域を守る

町消防団が秋季訓練



火花を出しながら、本番さながらの訓練

11月13日、日野中学校体育館前駐車場で、日野町消防団(藤原洋一団長)が秋季訓練を行いました。

今回は、町消防団に配備された車両および救助資機材で、救助救出が必要となる有事の際に使用できるようにと計画。切断用のエンジンカッターなど4つの機材で訓練しました。

指導した江府消防署消防司令、生田誠二さんは「地域の人のため、災害時に団員が同じ技量で機器を使えることは大切です。今後も訓練を継続してほしい」と期待します。また、参加した団員は「今回、訓練できて良かった。1回使っておくと災害時に役立つ」と訓練に励みました。

地域のスポーツ振興に尽力

町体育指導委員会に優良表彰



全国体育指導員連合から表彰を受けた町体育指導委員会の皆さん

地域のスポーツ振興に大きな功績を残し、日ごろから住民の健康、体力向上・維持に努めている団体を(社)全国体育指導員連合が表彰する「体育指導員優良団体表彰」に、鳥取県から、日野町体育指導委員会(高橋伸也会長)が選ばれました。

高橋会長は「体育指導員一人一人の長年の活動が認められた結果。今後、町民みんながスポーツに親しんでもらうために、頑張っていきたい」と話します。

平成8年に町体育指導員を中心に、D.O.スポーツを設立。平成17年には総合型地域スポーツクラブとして活動を広げ、健康維持、青少年育成など、さまざまな需要に応えた各種スポーツ大会やイベントに取り組んでいることが認められました。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで(電話72・0332)



脳卒中予防について詳しく聞く参加者

生活習慣の改善で予防を 医師らによる脳ドック説明会

11月30日、脳ドック説明会が山村開発センターで開かれ、脳ドックを申し込んだ12人が参加しました。

まず、健康福祉センターの長谷川遥管理栄養士が、缶コーヒーやお菓子为例に、塩分や糖分、脂肪の適正な摂取量について説明。その後、日野病院内科医の懸樋英一医師が脳の画像や資料を用いて「脳卒中予防には生活習慣の改善が有効である」と訴えました。

参加者は「塩分、糖分の摂取量について、調理の際に気をつけようと思う」「生活習慣の改善を考えたい。家族と一緒に脳卒中予防の話してみたい」と健康について考えるきっかけになったようです。



機能など除雪車両の詳細な説明を聞く児童

冬の生活を守ります

平成23年度県除雪車両出発式

本格的な降雪に備え、本郷の鳥取県日野総合事務所車両基地で除雪車両の出発式が開かれました。

今年度から県と日野郡3町の連携共同化の取り組みとして、県道部分を町に委託。町が生活に欠かせない県道と町道を合わせて除雪することで、即時対応や効率化など住民サービスの向上が期待されます。

また、この日は根雨小学校3年生が除雪業務を行う事業者などの激励にかけつけ、花束を渡すなど除雪期間中の安全を祈りました。出発式後は除雪車両の説明や、乗車体験が行われ、子どもたちは大きな車両を間近に見て興奮した様子。その大きさと機能に圧倒されていました。

町民生児童委員協議会 新任民生児童委員の紹介



梅林 敏彦さん (下黒坂)

担当地区：黒坂7区・下黒坂・根妻

【任期】

平成23年12月1日～平成25年11月30日



思いを語り、活発な意見交換となる

コミュニティ助成備品を 活用し、意見交換会開く

高尾自治会が病院と意見交換会

11月29日、医療・介護・保健について語る住民座談会が高尾集会所で開かれ、地域での医療環境の諸課題や対策など意見交換しました。

日野病院と役場健康福祉課から医師、看護師、相談員、保健師が出席し、必要とされる病院を目指すことなどを説明。参加者からは「高齢化率の高い町。もの忘れ外来を開設することはできないか」など積極的に意見交換されました。

高尾自治会はコミュニティ助成事業で長机や座布団、座いすなどを購入し活用。この事業は、(財)自治総合センターの宝くじ普及広報事業の一環で、宝くじの受託事業収入が財源です。